



木下敬子議員

無線放送施設の全戸設置を！

町長／必要性は強く感じている

公 助

木下 活力あるまちづくりにには人と人とのつながりが大切。また、生活基盤の確立が必要。中でも防災は重要。無線放送施設の早期全戸設置のための補助率も含めた対策は。

町長 助け合いの環境づくりに挨拶の大切さは認

識しています。

無線放送の全戸早期設置も重要な課題として認識しています。高齢化社会では情報の伝達だけでなく、役員の負担の軽減ということもあります。補助率についても前向きに検討します。

食育の窓口の 一本化を！

町長／連携する窓口を設ける

木下 さつま町の食育の現状と課題、今後の具体

的な取り組みについて。また、各方面との連携をとるための方策は。

町長 本年度は「かごしまの食育推進事業」を導入し、本町の食育推進計画を策定します。

農政課、健康増進課、学校教育課が取り組んできている事柄を踏まえ、より充実するために「食育推進協議会」を設置し、健全な食生活の実現に向けて進めてまいります。



有線放送施設を無線放送施設に変更
左から親機，戸別受信機

集落制度

集落制度の在り方は

町長／検討し進めていく



新改秀作議員

新改 現在の集落制度は過渡期にある。公民会長制度等に問題はないか。また、公民会への未加入者の取り組みはどうか。

町長 集落の活動については、少子化や高齢化等で課題を抱えていると思われる。状況分析や実情及び地域の独自性等も考慮しながら進めていきます。公民会未加入者については、転入時での加入促進及び公民会長への勧誘依頼で対応しています。

環境問題に ついて

町長／検討し取り組んでいく

新改 ゴミの分別収集品目、ゴミステーションの設置、公民会未加入者の利用について問題はないか。また、最終処分場の残余量は。

町長 いまだ分別していない品目もあるので検討



分別収集された資源ゴミ
(さつま町クリーンセンター)

します。

ゴミステーション設置については、ネットも含めて衛生自治団体連合会と検討します。

公民会未加入者の利用については、さらに検討します。

最終処分場は15年間は埋め立て可能です。

その他の質問

・集落合併の取り組み状況
・産業廃棄物の現状と課題